

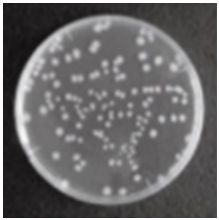
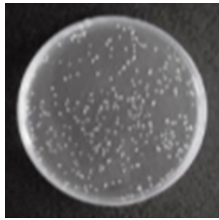
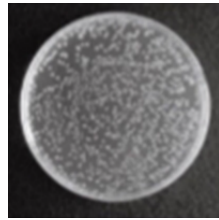
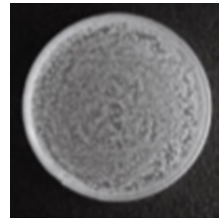
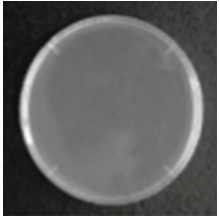
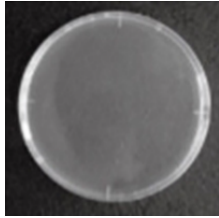
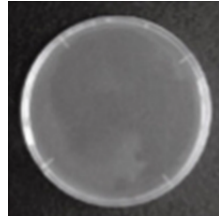
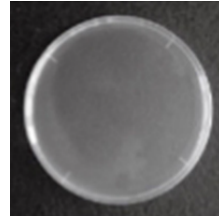
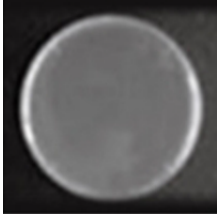
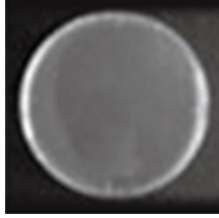
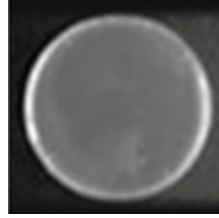
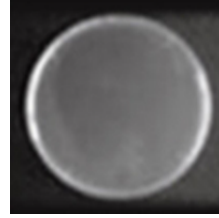
1. 検査機関：環境衛生検査センター主任検査技師常盤俊之
2. 試験期間：(1)2015年9月15日～2015年9月28日
3. 試験試料：(1) ブランク (滅菌検査パック)
4. 試験条件：直後～7日間 25°C放置
5. 試験方法：

検体調整：シトラクリン液を滅菌生理食塩水を用いて 500(X500) 倍希釈したものを、5X5cm に切り出した滅菌検査パック表面に 0.2ml 塗沫処理後、25°Cのフラン器内で所定期間 (直後、1,2,3,4,5,6,7 日間) 乾燥させたものを供した。
 また、未処理の滅菌検査パックをブランクとした。

前培養：供試菌は標準寒天培地 (日水) で 37°C24 時間前培養して試験に供した。

菌液調整：前培養した供試菌は 1/500NB 培地を用いて約 X 10CFU/mi になるように調整し作製した。

前培養：供試菌は標準寒天培地 (日水) で 37°C24 時間前培養して試験に供した。

| | Escherichiacoil KEC-B-001 大腸菌 | Staphylococcus aureus KEC-B-002 黄色ブドウ球菌 | Pseudomonas aeruginosa KEC-B-003 緑濃菌 | Bacillus subtilis KEC-B-003 枯草菌 |
|--------------------------------------|---|---|--|---|
| 接種菌数 | 6.1×10^5 | 6.3×10^5 | 6.4×10^5 | 5.2×10^5 |
| 初発 | 2.3×10^5 | 2.5×10^5 | 2.2×10^5 | 2.3×10^5 |
| ブランク (滅菌検査パック) 24 時間後 |  <math><10^1</math> |  <math><10^1</math> |  <math><10^1</math> |  <math><10^1</math> |
| シトラクリン (X500) 添加滅菌検査パック 24 時間後 |  <math><10^1</math> |  <math><10^1</math> |  <math><10^1</math> |  <math><10^1</math> |
| シトラクリン (X500) 添加滅菌検査パック 7 日後 |  <math><10^1</math> |  <math><10^1</math> |  <math><10^1</math> |  <math><10^1</math> |

インフルエンザウィルス不活性化定量試験

1. 検査機関：北里大学 医療衛生学部
2. 試験内容：シトラクリン WJ-014（シトラクリン原液）のウィルス不活性化定量試験
3. 試験品：シトラクリン WJ-014（シトラクリン原液）
4. ウィルスと細胞：influenza virus A 型 /duck/Hokkaido/5/77（H3N2） MDCK 細胞
5. 試験方法：

細胞毒性試験で得た細胞毒性濃度医科に調整した試験品の液（10 倍希釈液）にインフルエンザウィルスを 1/10 量加えた。（ウィルスの最終濃度は 10PFU/ml になるようにリン酸緩衝液で調整した。）作用温度は室温とし、作用時間は 5 分間、30 分、1 時間及び 3 時間とした。作用液中の生残ウィルス量をブラック法で定量した。

試験品の濃度 0% の作用液（リン酸緩衝液）の生残ウィルス量を不活性化率 0% として、試験品のウィルス不活性化率を求めた。

| 作用時間 | 作用液 | 試験 | 生残ウィルス PFU/ml | 生残率 % | 不活性化率 % |
|-------|------------------------------|----|---------------------|-------|---------|
| 5 分間 | シトラクリン (10 ⁴ 倍希釈) | 1 | <5 不検出 | <0.02 | >99.98 |
| | | 2 | <5 不検出 | <0.02 | >99.98 |
| | リン酸緩衝液 (対照) | 1 | 2.5×10 ⁴ | 100 | 0 |
| | | 2 | 2.3×10 ⁴ | 100 | 0 |
| 30 分間 | シトラクリン (10 ⁴ 倍希釈) | 1 | <5 不検出 | <0.02 | >99.98 |
| | | 2 | <5 不検出 | <0.02 | >99.98 |
| | リン酸緩衝液 (対照) | 1 | 2.4×10 ⁴ | 100 | 0 |
| | | 2 | 2.3×10 ⁴ | 100 | 0 |
| 1 時間 | シトラクリン (10 ⁴ 倍希釈) | 1 | <5 不検出 | <0.03 | >99.97 |
| | | 2 | <5 不検出 | <0.03 | >99.97 |
| | リン酸緩衝液 (対照) | 1 | 2.0×10 ⁴ | 100 | 0 |
| | | 2 | 1.8×10 ⁴ | 100 | 0 |
| 3 時間 | シトラクリン (10 ⁴ 倍希釈) | 1 | <5 不検出 | <0.03 | >99.97 |
| | | 2 | <5 不検出 | <0.04 | >99.96 |
| | リン酸緩衝液 (対照) | 1 | 1.7×10 ⁴ | 100 | 0 |
| | | 2 | 1.4×10 ⁴ | 100 | 0 |

グレープフルーツ種子抽出における合成殺菌剤配合検査

1. 試験機関：財団法人日本食品分析センター
2. 試験番号：第 108064346-001 号
3. 試験内容：シトラクリンの有害物質測定試験
4. 試験品：シトラクリン
5. 分析試験結果：

注 1. 検出限界は検体に由来する測定上の妨害物質のため、0.1g/kg とした。

| 分析試験項目 | 結果 | 検出限界 | 注 | 方法 |
|---------------|------|-----------|---|-------------------|
| ソルビン酸 | 検出せず | 0.005g/kg | | 液体クロマトグラフ - 質量分析法 |
| パラオキシ安息香酸メチル | 検出せず | 0.005g/kg | | 液体クロマトグラフ - 質量分析法 |
| パラオキシ安息香酸プロピル | 検出せず | 0.005g/kg | | 液体クロマトグラフ - 質量分析法 |
| トリクロサン | 検出せず | 0.01g/kg | | 高速液体クロマトグラフ法 |
| 塩化ベンゼトニウム | 検出せず | 0.1g/kg | 1 | 液体クロマトグラフ - 質量分析法 |